

基本的な能の約束事にも触れながら、毎回ひとつの作品を取り上げます。単なるあらすじの説明ではなく、時代背景や登場人物の人間像、根底にある日本人独特の美意識や死生観など日本文化のさまざまに目を向けて、作品世界を掘り下げ、鑑賞する力を育てる講座です。

# 第9回 能『百万』を読み解く

「物狂い能」。

晩春ののどかな光に満ちた清凉寺の境内をイメージしながら、大念仏などの仏教的な知識、「物狂い」とは何か、さらに物狂いと芸能との関連などを読み解いていきます。

能『百万』は、京都・嵯峨野の清凉寺を舞台に、大念仏当日の人々の賑わいのなかに母と子の再会を描く曲で、観阿弥が得意とした「嵯峨の大念仏の女物狂いの能」を、世阿弥が手を加え今日のスタイルにしたとされています。わが子と生き別れ物狂いとなった母・百万が「芸尽くし」の舞を見せながら、子を思う心を切々と語る、典型的な「物狂い能」。

令和4年5月20日（金）

要予約/定員80名

14時開始（13:30開場/15:30終了）

会場：国立能楽堂 大講義室  
（渋谷区千駄ヶ谷4-18-1）

参加料：一般3,000円

R会員2,000円/S会員1,500円

青少年1,000円

※青少年：満12歳～26歳未満



講師プロフィール：氷川まりこ（伝統文化ジャーナリスト）

横浜エフエム放送で開局準備から番組の企画・編成を担当。その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、1990年代以降は、能楽を中心に、茶、花、香、禅など室町期の東山文化の芸道、芸能を専門として、書籍や記事の編集・執筆、レクチャーなどを行なっている。豊かな経験と取材に裏づけられた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの取材の指名を受けている。

お申込み・お問合せ 《Tpac:伝統文化交流協会》



HP「予約フォーム」又はメールにて下記記入の上お申込み下さい。

後日、受付確認メールにて代金振込のご案内をお送りいたします。

【公演名(5/20能楽鑑賞入門) / お名前 / 電話番号 / 申込み人数】

予約フォーム：<https://www.tpac.info/events/detail/id=277> メール：[Tpacdentobunka@icloud.com](mailto:Tpacdentobunka@icloud.com)

主催：一般社団法人伝統文化交流協会

共催：古典の日推進委員会 特別協力：ジャポニズム振興会

## 国立能楽堂公演のチケット手配も！

講座受講者でご希望の方には、取り上げた作品が上演される国立能楽堂定例公演の正面席チケット(有償・割引料金)をご用意いたします。上記講座申込と合わせて「百万チケット何枚」とお申込下さい(受付締切:5月6日)。お渡しは次回5/20の能楽鑑賞入門講座会場となります。

7月9日(土)13時開演 普及公演 狂言『どちはぐれ(どちはぐれ)』小笠原由祠(和泉流)  
能『百万(ひやくまん)』大坪喜美雄(宝生流)

### 古典の日

『平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。』

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 各自マスクをご持参の上、会場内では必ず着用をお願いいたします。
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施させていただき、37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 客席は通常の約半数とさせていただきます。必ず事前予約をお願いいたします。
- 今後のウイルス感染等の状況によっては、定員数の増減や公演中止となる可能性もございます。予めご了承ください。